

製品名: サイトケラチン 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09762**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	KRT4 CYK4
別名	Keratin, type II cytoskeletal 4 (Cytokeratin-4) (CK-4) (Keratin-4) (K4) (Type-II keratin Kb4)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P19013
免疫原	アミノ酸範囲 200~260 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

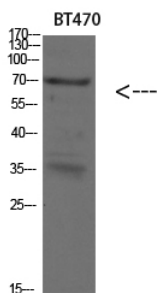
ケラチン 4 (KRT4) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ケラチン遺伝子ファミリーのメンバーです。II型サイトケラチンは、塩基性または中性タンパク質で構成され、これらはヘテロタイプのケラチン鎖の対として配列し、単純上

皮組織および重層上皮組織の分化過程において共発現します。このII型サイトケラチンは、ファミリーメンバーであるKRT13と共に、粘膜上皮および食道上皮の分化層で特異的に発現します。これらの遺伝子の変異は、口腔、食道、および肛門の白板症を特徴とする白色海綿状母斑と関連付けられています。II型サイトケラチンは、染色体12q12-q13の領域に密集しています。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：KRT4遺伝子の欠損は、大腿骨頭白色海綿母斑（WSN）[MIM:193900]の原因となる。WSNは、主に非角化重層扁平上皮に発症する稀な常染色体優性遺伝疾患である。臨床的には、口腔粘膜に軟らかく白色の海綿状のプラークが出現する。特徴的な組織病理学的所見は、口腔上皮ケラチノサイトの基底上層における上皮肥厚、不全角化、および空胞化である。頻度は低いが、鼻、食道、生殖器、直腸の粘膜が影響を受ける。、その他:細胞骨格ケラチンと微小原繊維ケラチンには、I(酸性、40~55 kDa)とII(中性から塩基性、56~70 kDa)の2種類がある。、多型:K4には、K4A2(ここに示す)、K4A1、K4Bの3つの対立遺伝子が知られている。、類似性:中間径フィラメントファミリーに属している。、サブユニット:2つのタイプIケラチンと2つのタイプIIケラチンのヘテロ四量体。ケラチン-4は一般にケラチン-13と関連している。、組織特異性:食道、外子宮頸管、膣、口腔、舌粘膜の重層上皮の基底上層、および食道粘膜下層の粘膜および漿液腺管の細胞および細胞塊(タンパク質レベル)で検出される。外子宮頸管および食道上皮に広く発現しており、基底細胞層で最も低いレベルで検出される。、

研究分野

シグナル伝達

画像データ



SKOV3 293T ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は500倍希釈。二次抗体は1:20000倍希釈。